

天皇盃第 30 回記念全国都道府県対抗男子駅伝競走大会

大分県代表選手選考要項(案)

一般財団法人大分陸上競技協会

強化委員会：全国都道府県対抗男子駅伝競走大会大分県チーム担当

強化育成方針

8 位入賞及び 20 位台の定着を目指す中で、年間を通じて練習会や強化合宿の開催など選手の育成・強化及びコンディション管理を行い、大会当日チーム及び個人が最高のパフォーマンスを発揮できるよう、以下の手順で選手を選考する。

【代表候補選手選考基準】

<中学生> ※2年生以上

- (1) 全日本中学校陸上競技選手権大会において、1500mまたは3000mで決勝進出を果たした者。
- (2) 4月1日～11月23日までの競技会及び記録会等において、3000mで8分45秒00以内の記録を出した者。
- (3) 九州中学校駅伝競走大会において、区間賞の者。

<高校生>

- (1) 全国高等学校陸上競技対校選手権大会及び国民スポーツ大会において、5000mで決勝進出した者（決勝タイムレースで10位以内）。
- (2) 九州高等学校駅伝競走大会において、1区、3区、4区で区間賞の者。
- (3) 4月1日～11月23日までの競技会及び記録等において、5000m…14分30秒00以内の記録を出した者。

<大学生>

- (1) 日本陸上競技選手権大会において、5000mまたは10000mで8位入賞した者。
- (2) 4月1日～12月15日までの競技会及び記録会等において
15000m…14分00秒00以内
10000m…29分00秒00以内の記録を出した者。

<一般（ふるさと競技者）>

- (1) 4月1日～12月15日までの競技会及び記録会等において
15000m…13分50秒00以内
10000m…28分45秒00以内の記録を出した者。

1. 代表候補選手選考方法

(1) 中学生・高校生

11月23日(土)の都道府県駅伝選考会 (中学生:3000m、高校生:5000m)の結果を見て中学生は2、3年生の中で5~7名を高校生は全学年の中で7名を代表候補選手として選出する。

※【申し合わせ事項】

- ①都道府県駅伝に参加意志のある選手は11月23日(土)の選考会には必ず参加するものとする。
- ②救済措置として代表候補選手内定基準をすでに突破している者やそれに近い記録を出している者で感染症や修学旅行など突発的な事由により選考会に出場できなかった者については、実績を考慮し監督とスタッフで協議し、代表候補選手としてメンバーに入れる場合もある。



2. 代表選手選出方法

(1) 中学生・高校生

11月23日(土)の都道府県駅伝選考会及び12月の強化合宿(タイムトライアル、ペース走、インターバル走など練習)の結果を見て中学生は2、3年生の中で4名を高校生は全学年の中で5名を代表選手として選出する。

(2) 大学・一般(ふるさと競技者を含む)

選考は監督とスタッフで協議し、ふるさと競技者1名、大学生2名を決定する。



3. 代表選手の決定について

大分陸上競技協会の承認を経て正式決定とする。それ以降のエントリー選手変更(怪我・故障等)については、監督を中心とする男子駅伝スタッフ並びに大分陸協強化委員長と協議し、大分陸上競技協会専務理事の承認を経て監督判断のもと選手変更の決定をする。